

第34回通常総会を開催

平成18年5月12日、社団法人電池工業会第34回通常総会が機械振興会館で開催された。第1号議案から第5号議案までが審議され、提出された5議案はすべて可決承認された。

石田徹会長（松下電池工業株式会社社長）が議長となり、第1号議案から第5号議案までを審議し、報告事項の確認承認を行なった。

(1) 第1号議案 理事・監事選任

配布資料に基づき理事・監事の選任についての説明が行なわれ、審議の結果第1号議案は原案通り可決承認された。



(新理事の選任)

氏名	社名・役職
内海勝彦	古河電池株式会社 代表取締役社長
大内秀夫	東芝電池株式会社 取締役社長
角田義人	日立マクセル株式会社 代表執行役社長
岡田奎司	株式会社三菱電機ライフネットワーク 代表取締役社長
小森良孝	シック・ジャパン株式会社 エナジャイザー電池事業部 事業部長

(新監事の選任)

氏名	社名・役職
菅 孝治	NECトーキン株式会社 執行役員 電池事業部長
澤田昌司	株式会社日立リビングサプライ 情報家電部 部長

(2) 第2号議案 平成17年度事業報告

配布資料に基づき平成17年度の事業報告の説明があり、審議の結果第2号議案は事務局の原案どおり可決承認された。



(3) 第3号議案 平成17年度収支決算報告の件

収入の部については、予算額3億8千9百万円に対し、決算額3億9千3百万円となり、4百万円の増収となった。

支出の部については、予算額2億7千5百万円に対し、決算額2億6千9百万円となった。

この結果、当期収支差額はマイナス6百万円、前期繰越収支差額と合わせて次期繰越収支差額は1億2千3百万円となる旨の報告があり可決承認された。

(4) 第4号議案 平成18年度事業計画の件

配布資料に基づき平成18年度の事業計画の説明があり、審議の結果第4号議案は事務局の原案どおり可決承認された。

(5) 第5号議案 平成18年度予算の件

収入の部については、当期収入2億8千4百万円、前期繰越収支差額1億2千3百万円、合計4億7百万円を見込んだ。

支出の部については、当期支出2億8千4百万円、次期繰越収支差額1億2千3百万円と見込んだ旨の説明があり可決承認された。

(6) 報告事項

1. 会員入退会

(正会員退会)

会員名	会員代表者	退会年月日
ダイヤセルテック株式会社	三尾興太郎	平成17年6月30日

(賛助会員入会)

会員名	会員代表者	入会年月日
ダイヤセルテック株式会社	三尾興太郎	平成17年7月1日
東燃化学那須株式会社	石山順也	平成17年7月1日

(賛助会員退会)

会員名	会員代表者	退会年月日
三興金属工業株式会社	宮田進	平成18年2月28日
小沢工業株式会社	小幡光男	平成18年3月23日
株式会社KRI	中芝明雄	平成18年3月31日

以上の結果、平成18年5月12日現在の会員状況は次のとおり

正会員 17社
賛助会員 61社
合計 78社

2. 役員互選の件

(副会長の選任)

会員名	役職	氏名
東芝電池株式会社	取締役社長	大内秀夫

(任期：平成18年4月1日～平成19年5月総会日)

(常務理事の選任)

会員名	役職	氏名
日立マクセル株式会社	代表執行役社長	角田義人

(事務局長の選任)

略歴	氏名
ソニー（株）出身	和仁義明

3. 会員代表者の交替、会員会社名の変更の件

(正会員代表者の交替)

会員名	新会員代表者	旧会員代表者	変更年月日
日立マクセル株式会社	角田義人	赤井紀男	平成18年4月1日
株式会社三菱ライフネットワーク	岡田奎司	彦坂洋二	

(賛助会員代表者の交替)

会員名	新会員代表者	旧会員代表者	変更年月日
ボッシュ株式会社	オラフ・ヘニング	フランク・シュレフーバー	平成17年8月31日
山田電器工業株式会社	山田耕次郎	山田一也	平成17年11月28日
中国興業株式会社	佐々木哲夫	松本克己	平成18年2月15日
株式会社デンソー	山田学	伊藤昇平	平成18年2月28日
株式会社LG化学	松本和順	梁智勳	平成18年3月1日

(正会員名の変更)

新登録会員名	旧登録会員名	変更年月日
NECトーキン株式会社電池事業部	NECトーキン栃木株式会社	平成18年4月1日

(賛助会員名の変更)

新登録会員名	旧登録会員名	変更年月日
ジレットジャパンエルエルシー	ジレットジャパンインク	平成18年4月1日

以上

椿一夫氏がIEC活動推進会議総会で表彰されました

IEC活動に多大なる貢献をされた TC35前国際幹事 椿一夫氏（松下電池工業（株）出身）が、5月10日にホテルニューオオタニで行なわれたIEC活動推進会議総会で、その功績に対し表彰されました。

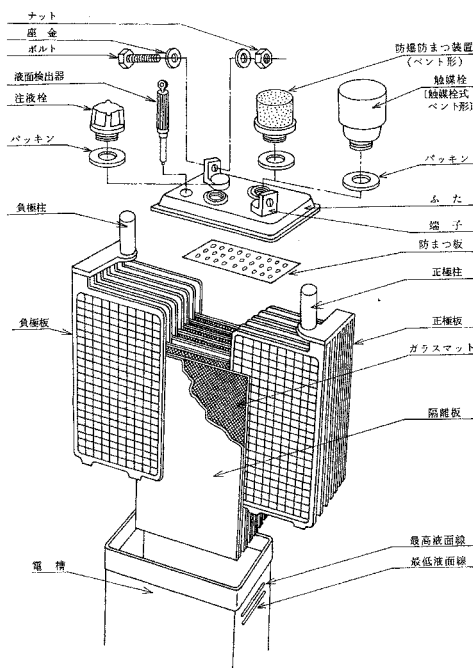


据置鉛蓄電池(ベント形・制御弁式)

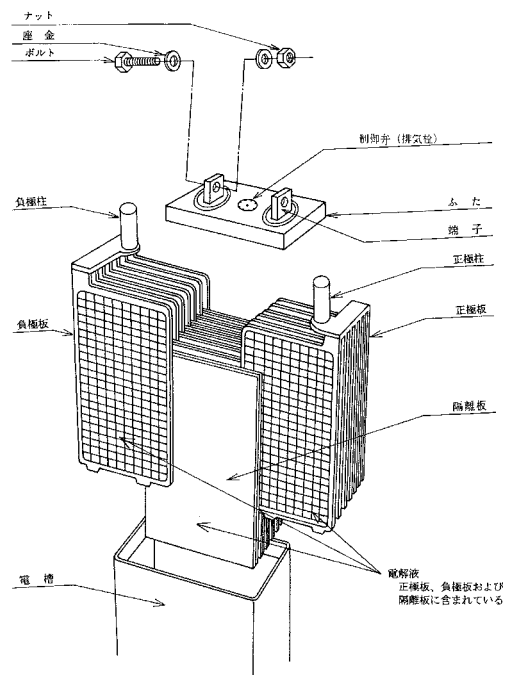
今回は、主に屋内に設置され停電時等の非常用電源として用いられる“据置鉛蓄電池”をご紹介します。据置鉛蓄電池は大別して、電池の上部に電池内での発生ガスを排出するための突起状の栓を有する「ベント形」と、電池内部を加圧構造にして陰極での発生ガス吸収をし易くした制御弁を有する「制御弁式」の2つに分けられます。制御弁式の場合は、定期的な水の補給は必要ありません。どちらの電池も内部の基本構造は、他の鉛蓄電池と同じように構成されていますが、ベント形の鉛蓄電池には極板の作り方に2つの方法があ

ります。“ペースト式”と呼ばれる電極は、鉛合金格子に鉛粉をペースト状に塗布して作製されます。“クラッド式”と呼ばれる電極は、鉛合金製のすだれ状の芯金を多孔性のチュウブで被い、その袋の中に鉛粉を充填させて作製されます。ペースト式は比較的大電流放電用途に、クラッド式は長寿命用途に用いられます。

据置鉛蓄電池の電池電圧は用途に応じて用いられており(2Vの倍数)、カーバッテリーの様に12Vに統一された使い方にはなっていません。



(図1) ベント形据置鉛蓄電池構造



(図2) 制御弁式据置鉛蓄電池構造

- 据置鉛蓄電池は2V単電池を必要な電圧・容量を得るために、直列や並列接続に組合わされて設置されます。
- 常時は付帯する充電電源設備でフロート充電(浮動充電)されています。
- この蓄電池は商用電源が遮断された場合にも、瞬時に蓄電池電源設備から電気設備を停止させることのないように長期間の品質を発揮する製品設計がなされています。
- 製品に関する規格
 - JISC8704-1: 据置鉛蓄電池 一般要求事項及び試験方法 1部ベント形
概要: 15Ahから各種規格化されています。
 - JISC8704-2: 据置鉛蓄電池 一般要求事項及び試験方法 2部制御弁式
概要: 30Ahから3000Ahまで規格化されています。
形式: HSEとMSE形が標準です。

平成18年6月度の電池工業会活動概要

部会	開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項	
特別会議他	13日(火)	新種電池委員会	燃料電池、その他新種電池情報交換と東アジア情報収集方法審議	
	15日(木)	広報総合委員会	電池フェスタ、電池教室等の実施計画の審議	
二次電池部会	8日(木)	金属資源機構ハイブリッドリサイクル研究会	NiMH蓄電池の希少金属回収研究会	
	9日(金)	自動車用鉛分科会	IEC60095-4回答書審議、BAS0101最終案審議、SASO対応審議、製品安全チェックリスト見直し	
	13日(火)	EV鉛分科会	SBA規格(TR)改正審議、製品安全チェックリスト見直し、他	
	13日(火)	EV用電池委員会	電気自動車用Li蓄電池の調査報告審議他	
	14日(水)	電気車鉛分科会	SBAG0807、G0802、G0805審議、製品安全チェックリスト見直し、他	
	14日(水)	需要予測委員会	H18年度需要予測	
	15日(木)	JARI/EV車両審議委員会	EV車両の助成審査	
	15日(木)	産業電池技術サービス分科会	蓄電池設備の部品交換に関する調査報告書第二版の校正。蓄電池設備の劣化診断指針(SBAG0606)の改正内容の審議、他	
	16日(金)	用語分科会	SBA0401規格様式最終案の審議他	
	19日(月)	充電器分科会	浮動充電用整流装置の保守・取扱い指針(SBAG0901)の改定審議、浮動充電用整流装置の安全指針(SBAG0902)の改定審議、他	
	21日(水)	据置アルカリ分科会	日本消防検定協会細則改正審議、製品安全チェックリスト見直し、他	
	23日(金)	技術委員会	IEC文書の進捗、SBA改正案・確認及び審議、他	
	23日(金)	産業用電池委員会	18年度活動計画	
	26日(月)	市販分科会	自動車用電池新リサイクルシステムの検討	
	26日(月)	産業用電池リサイクル委員会	産業用電池リサイクルスキームの検討	
	26日(月)	電気車用電池リサイクル委員会	電気車用電池リサイクルスキームの検討	
	29日(木)	据置鉛分科会	安全表示ガイドライン製品チェックリスト改正審議	
	小形二次電池部会	1日(木)	国連対応委員会	7月国連会議準備報告、電池輸送に関する審議、手引書改訂、他
		2日(金)	台湾電池協会来訪	電池規格に関する協議、台湾電池規制質問、台湾電池セミナー案内、他
		7日(水)	小形二次電池部会	台湾工業会打合せ、欧州電池指令、再資源化Liイオン電池の表示等の報告、他
15日(木)		ニカド・ニッケル水素分科会	市販用NiMH電池IEC提案、海外安全規格、TC108関連審議	
15日(木)		工場環境委員会	ISO14001、PRTR、省エネ、法条例改正等についての情報交換。電池工業会環境行動計画見直し検討	
16日(金)		リチウム二次分科会	海外安全規格、米国リチウム2次情報、TC108関連審議	
16日(金)		再資源化委員会	識別表示ガイドラインの見直し検討	
16日(金)		海外環境委員会	欧州電池指令、台湾電池規制、中国版RoHS規制に関する情報収集、手引書改訂審議	
27日(火)		業務委員会	5月度販売状況の検討及び動態確認、海外生産分の確認	
一次電池部会	8日(木)	JIS/IEC小委員会、LiWG	新JISC8515の使用推奨期限表示の一部変更点に付き討議、他	
	9日(金)	資材委員会	中国資材事情の調査	
	14日(水)	一次電池部会	各委員長の活動報告、新EU電池指令の問題点など審議	
	20日(火)	技術委員会	JIS・IEC小委員会、LiWGの活動報告とEU電池指令の問題点を討議	
	22日(木)	器具委員会	防犯ブザー合同会議(於:警察庁)	
	23日(金)	J-Moss委員会	グリーンマーク運用に関する見直し検討	
	23日(金)	臨時環境対応委員会	過塩素酸塩規制に関する統一見解まとめ	
	29日(木)	家製協ハンドブック委員会	2006年版作成のデータまとめと調整作業実施	
	30日(金)	プライマリープロジェクト	年間計画策定	

富士通アルカリ乾電池「G. D. Rシリーズ」新発売

—消費者目線に立った新ラインナップと大幅性能アップ—

FDK株式会社



【本体デザイン（単3形）】

FDK株式会社（社長：杉本俊春）は、富士通アルカリ乾電池について、ワイドレンジ性能をさらに向上させた“G-PLUS”に加え、大電流が必要なデジタル機器向けの“D-RANGE”および一般機器向けに最適なスタンダードアルカリ乾電池“R-SPEC”の2シリーズを2006年7月より発売いたします。

今回の富士通アルカリ乾電池「G.D.R」の3シリーズは、消費者ニーズをもとに、使用する機器に最適なアルカリ乾電池を提供するというコンセプトで開発しました。

大電流を必要とする機器向けに“D-RANGE”、中小電流領域で使用される機器向けに“R-SPEC”、あらゆる機器向けに“G-PLUS”と、従来のアルカリ乾電池にはなかった使用機器、用途に合わせた新しいラインナップにより、どの機器にどの電池を使用すれば最も経済的で効率的なのか消費者の皆様にはわかりやすくいたしました。

<各シリーズの特徴>

“G-PLUS”は、「大電流から小電流まで幅広いレンジで高い放電性能を実現する」という「Gシリーズ」のコンセプトを継承しており、幅広い用途で優れたパフォーマンスを発揮するワイドレンジ性能を大幅アップさせ、高品質を追及した世界最高レベルの新世代アルカリ乾電池です。

本製品は、負極亜鉛粒子の形状変更を行い（特許出願中）、新開発の電解二酸化マンガン（MnO₂）を正極作用物質として採用し、これに正極合材の内部抵抗を独自の配合で処理することにより、大電流放電時の放電電位を高く維持することに成功しました。これによりワイドレンジ性能はさらにアップしました。

“D-RANGE”は、デジタルカメラやラジコン等「重負荷パルス、大電流条件で高い放電性能を実現した」アルカリ乾電池です。デジタル機器の使用頻度の多いお客様には最適です。

本製品は、“G-PLUS”の技術開発内容に加え、電解液組成の最適化を行ったことで大電流パルス放電特性をさらに伸長させ、デジタルカメラに代表されるデジタル機器に強い特性を実現しました。

“R-SPEC”は、「アルカリ乾電池のスタンダード（レギュラー）タイプ」と位置づけたアルカリ乾電池です。

本製品にも、新開発の電解二酸化マンガン（MnO₂）を正極作用物質として採用したことで、当社従来品（当社単3形Cシリーズ）に対して、約10%の性能アップを達成しました。

○本件へのお問合せ（報道関係） 広報・IR室
TEL:03-5473-4688 FAX:03-3434-1375
（お客様） 電池営業本部営業企画部
TEL:03-3434-1374 FAX:03-3459-1476

安全性や施工性などを向上した 新型道路照明器具「RENO+シリーズ」を新発売

株式会社 ジーエス・ユアサ ライティング

株式会社 ジーエス・ユアサ ライティング（社長：岡本 伸一、本社：京都市南区）は、道路照明の主力製品である「RENO（レノ）シリーズ」（1999年6月発売）の後継機種として、このたび「RENO+（レノプラス）シリーズ」5種類10機種を開発し、7月1日より発売を開始いたします。

今回発売する「RENO+シリーズ」は、三次元CAD設計の反射鏡による優れた配光性能や上方への光漏れをカットした光害の大幅な低減、直線ポール適合による大幅な設備費低減など従来の「RENOシリーズ」が有するいろいろな機能を継承するとともに、発売以来お客様からいただいたさまざまなご意見・ご要望を反映させながら、「安全性の向上」も追求しました。また、高所での取り付け作業やメンテナンス作業軽減のために多くの改良を加え、「施工性の向上」や「メンテナンス性の向上」を実現するとともに、多様な設置条件に対応できる「豊富な配光バリエーション」などの特長をプラスしたラインナップとなっております。

【仕様】

適合ランプ : ハイナトレックス／管型・拡散型／100W～360W

エコセラⅡ／管型・拡散型／150W～360W

本体材質 : アルミダイカスト

反射板 : アルミ

下面カバー : 強化ガラス

塗装色 : グレー（N7.0）

質量（重量）：9.6kg

【発売日】 2006年7月1日

【販売目標】 初年度 10,000台

【用途】 道路、街路・駅前広場、ガソリンスタンド構内、駐車場などの照明

【写真】 RENO+シリーズ MR3810



株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

お問い合わせは 広報室

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地 TEL.075-312-1214 FAX.075-312-0493 <http://www.gs-yuasa.com/jp>

【この件に関する当社担当部門】

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション 広報室 TEL 075-312-1214

4月度電池および器具販売実績（経済産業省機械統計）

（2006年4月）

単位：数量、千個、金額、百万円

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
電池・器具総合計	495,602	53,830	105%	103%	1,958,073	233,172	104%	104%
全電池合計	494,891	52,756	105%	104%	1,955,671	229,224	104%	104%
一次電池計	365,792	11,998	107%	108%	1,389,523	44,490	102%	103%
マンガン乾電池	53,073	741	92%	81%	206,410	2,994	88%	78%
アルカリ乾電池計	101,028	4,902	106%	103%	383,526	18,188	103%	98%
単 三	53,543	2,278	98%	96%	212,638	8,719	101%	98%
単 四	30,594	1,243	121%	114%	112,430	4,622	112%	105%
その他	16,891	1,381	111%	106%	58,458	4,847	97%	94%
酸化銀電池	75,077	869	92%	99%	288,448	3,241	91%	95%
リチウム電池	110,740	3,970	119%	107%	423,243	15,075	111%	108%
その他の乾電池	25,874	1,516	161%	170%	87,896	4,992	143%	143%
二次電池計	129,099	40,758	102%	102%	566,148	184,734	109%	105%
鉛電池計	2,649	8,939	89%	97%	12,499	46,204	96%	101%
自動車用	1,784	5,016	101%	106%	8,609	24,705	105%	104%
二輪用	328	608	86%	78%	1,368	2,736	98%	94%
小形制御弁式	331	701	55%	90%	1,542	3,279	65%	110%
その他	206	2,614	93%	89%	980	15,484	99%	97%
アルカリ電池計	44,070	7,878	73%	75%	203,157	38,476	85%	95%
完全密閉式	23,284	2,674	71%	81%	104,055	12,705	80%	89%
ニッケル水素	20,778	5,051	74%	72%	99,047	24,422	91%	97%
その他のアルカリ電池	8	153	100%	109%	55	1,349	95%	117%
リチウムイオン電池	82,380	23,941	130%	120%	350,492	100,054	131%	111%
器具計（自主統計）	711	1,074	79%	91%	2,402	3,948	68%	86%
携帯電灯	282	362	59%	93%	1,104	1,276	54%	79%
電池器具	429	712	101%	90%	1,298	2,672	87%	89%

4月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2006年4月）

単位：数量、千個、金額、百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	270,224	29,449	102%	110%	1,069,370	120,377	99%	115%
一次電池計	142,501	2,749	103%	111%	530,224	11,101	89%	111%
マンガン	35,517	372	103%	107%	149,101	1,732	106%	125%
アルカリ	22,137	359	145%	120%	70,283	1,238	88%	94%
酸化銀	39,713	478	90%	97%	138,056	1,708	84%	97%
リチウム	43,498	1,497	101%	115%	166,852	6,266	83%	118%
空気亜鉛	1,261	24	62%	82%	4,982	89	61%	65%
その他の一次	376	18	225%	140%	950	69	70%	95%
二次電池計	127,723	26,700	101%	110%	539,146	109,275	111%	116%
鉛蓄電池	512	664	108%	55%	2,036	2,504	131%	77%
ニカド	19,036	1,979	65%	79%	86,248	9,365	74%	93%
ニッケル鉄	0	5	—	—	2	8	1345%	583%
ニッケル水素	9,844	2,157	65%	78%	39,815	8,917	60%	88%
リチウムイオン	75,340	19,065	121%	125%	309,078	75,131	130%	122%
その他の二次	22,990	2,830	114%	113%	101,967	13,350	158%	145%
全電池合計（輸 入）	55,767	6,779	99%	115%	249,350	26,982	96%	108%
一次電池計	46,791	1,518	97%	176%	213,928	5,023	95%	107%
マンガン	7,218	73	63%	57%	49,382	645	79%	97%
アルカリ	31,684	500	109%	123%	129,699	1,956	100%	95%
酸化銀	149	5	44%	78%	1,170	29	118%	139%
リチウム	7,008	279	256%	180%	27,671	1,376	252%	158%
空気亜鉛	631	20	143%	166%	3,013	100	68%	87%
その他の一次	102	642	2%	406%	2,993	917	17%	96%
二次電池計	8,976	5,261	114%	105%	35,422	21,959	102%	108%
鉛蓄電池	560	1,345	91%	102%	3,027	7,226	117%	121%
ニカド	2,138	492	141%	130%	6,655	1,778	80%	110%
ニッケル鉄	12	27	—	—	55	89	105%	84%
その他の二次	6,266	3,396	110%	102%	25,684	12,865	108%	101%